

会派代表質問
 「会派名」志政いわくに
 「氏名」藤本泰也

問 他空港で行われているビジネスキャンペーン

いや搭乗特典、修学旅行支援など参考にしているか
 いかかか。

答 効果的な事業を検討する

他空港の事例調査も幅広く行い、岩国錦帯橋
 空港利用促進協議会や岩国錦帯橋
 空港支援協議

問 定年延長制度の影響について

来年度から定年延長制度が始まるが、新規職
 員の募集に影響があるのか。
 答 40人前後の新規採用を予定している

職員採用については、定員管理計画の期間
 である令和5年度までは、令和10年度まで
 予定している。40人前後の職員を新規採用し

て、毎年40人前後の職員を新規採用している。

を
図
る
。

会派代表質問
 〱 〱 〱
 氏 会 派 名 名 名
 〱 〱 〱
 武 憲 政
 田 政 会
 伊 佐
 佐 雄

問 にぎわい創出施設の整備について

中高生のタマリバというコンセプトで整備され、
 運営スタッフが来館される中高生に寄り添った
 対応ができる環境を整えて、若者が主体的に
 行動できる環境が整っていった。例えば、さん
 クル募集の情報がホワイイトボードにたくさん
 掲示してあった。このことや中高生が考えたい
 トの企画書が、たくさんフアイルもやっていた。こ
 たの様子を見まわると、本市の若者にもやりたい
 と、創出するものが、新しい創出施設
 施設については、これ世代間を超えて、
 の居場所づくりの活動の場として、市長の
 ある。中高生の活動の場として、市長の
 ヨンを伺う。〱

答 若者の意見を取り入れた整備に努める

施設整備の検討から、学校の帰りに習ったシ
 ヨッップでは、若者から、練習をしたら、
 〱

に う た
努 よ 具
め り 体
て 、 的
い 若 な
き 者 意
た の 見
い 声 を
。 が 頂
反 い
映 て
さ い
れ る
る 。
よ 私
う の
施 考
設 え
整 と
備 い

問
て 中 灘 地 区 災 害 対 策 に は 、 灘 所 と 供 用 会 館 に 加 え
る こ と が 求 め ら れ て 避 難 場 所 と し て 開 設 さ れ
路 に つ な が り 岩 国 南 バ イ パ ス に 接 続 す る 藤 道
生 長 野 の バ イ パ ス が 開 通 し 藤 生 道 上 久 原 藤 生 停
車 場 線 の 代 替 施 設 と な る 藤 生 道 整 備 が な さ れ 藤 生 停
ア ク セ ス 道 路 に 加 え 黒 磯 地 区 い こ と 学 び の 交 避
難 要 件 を 備 え た 一 黒 磯 地 区 い こ と 学 び の 交 避
流 テ ラ ス ー と そ の 取 付 道 路 が 完 成 し 心 環 境
1 8 号 越 波 対 策 が 終 了 の 暁 に は 安 心 環 境
の 整 っ た 地 域 と な り 地 域 活 動 に は 安 心 環 境
自 治 会 な ど 役 員 の 成 員 一 人 一 人 が 地 域 で 暮 ら す
問 題 と な っ て 連 携 と 交 流 を 自 覚 し 笑 顔 の ま ち
づ ー 員 り に 向 け た 取 組 を 要 望 す る 。 笑 顔 の ま ち

一 般 質 問
市 民 の 声 を き く 会
氏 名
中 村 恒 友

問 も、岩国市内にある岩国認可外保育施設において、
 し、基地のある町、岩国なら、
 積極的に取り組む、基地内の子どもは、
 人園児の入支援事業の補助対象を認める。外国を
 施設まで広げ、事業の補助対象を認める。見解を問
 を整理していく必要がある。そして、保育ができる環境
 う。外国園児の入支援事業の補助対象である。おむ
 として、外国人園児の支用者10人以上のおむ
 ること、外国人園児が、おむ
 ね、2分の1以上、在籍している。おむ
 国、人園児の入支援事業の補助対象である。おむ
 助、事業の趣旨と一致する。おむ
 で、判断し、ていくべきもの、と考える。おむ

一般質問
 〱 〱
 野本真由美 議員 団

盟道っし答必のてる度道のる前問
 と路たて要整岩こと路た恐通
 連のとお幹と備国となくゝめれ行昨
 携整こり線考、西から、が道あ規年
 し備ろ、道えるしイ、同じ行号こ基の9月
 、促であ年防い既スへに所でとな道、と14号
 今進る末災か存の岩国害に通規た。玖珂線
 後につ。、国対策か。線道西強い幹線道路としい
 もいまた及びの。道路の絡幹線道路としい
 要て、び県の必道路の絡幹線道路としい
 望をも、岩県に要道路の絡幹線道路としい
 を行、地国に緊急要望を認識
 っ地国に緊急要望を認識
 て元玖急要望を認識
 い民西連絡幹線
 ぐ間絡幹線
 。期成同

一
 般
 質
 問
 氏
 会
 派
 名
 名
 氏
 志
 政
 重
 建
 治
 氏
 藤
 重
 建
 治
 氏
 藤
 重
 建
 治

向 答 え が よ 場 港 問 体 答 象 い 今 問
 き る で う を の 的 に た 一 錦
 に 県 。 き な 含 ポ 装 な 大 錦 だ 度 帯
 未 の 市 れ 幅 め ー 港 手 変 帯 き 、 帯
 来 考 の の ば 広 た ト 地 法 有 橋 た 多 橋
 志 え 考 、 い 整 ビ 区 の つ な 渡 ° の 創
 向 も え 地 人 備 ル の ま い 方 橋 イ 市 3
 で 聞 を 域 が を を 県 ち て 策 料 ベ 民 5
 考 き 問 の 集 行 う と づ く っ 一 無 ト 方 0
 え な う ° 性 れ こ 連 く っ 一 無 ト 方 0
 て が ° 化 る と 携 り か つ 料 に な 日 々 年
 い ら 調 に 複 に し の り と に な 日 々 年
 き 調 も 合 よ て 一 検 考 す ど 錦 記
 た 査 つ 的 り 、 周 と し る こ と 市 渡 念
 い ・ な が 交 道 の 困 し て い め を 民 を っ 年
 ° 研 究 し 、 考 設 の 車 新 ° 具 う 対 て に
 前

一 般 質 問
 氏 会 派 名 名
 丸 志 政 郁 生
 茂 郁 生
 丸 志 政 郁 生
 茂 郁 生

な海みCあなベいな提たとが減凍問
 ら域にAるくイ無ど出め認難ら結
 ずで収C。、G責に、、めしさを県
 、訓練容は提共B任声を出張員なら
 抗議する進をにににの、であっ港た。ど
 べきと線泊泊め入港た。ど緊急、性を
 であ初返していてるこ給等のは明らか
 。てたいるるGとのは明らか
 で。るるGとのは明らか
 、米自衛隊かお米す
 見艦衛隊かお米す
 過船が提は
 しが提は
 て提は
 は供すLで

一
 般
 質
 問
 氏
 会
 派
 名
 氏
 長
 岡
 辰
 久
 日
 本
 共
 産
 党
 市
 議
 団

援組 答 う 問 事 の 入 答 こ た い 飼 問
 が 合 な 補 よ は 助 補 小 は と り の 料 農 地
 で や 国 補 い で 要 助 補 規 で 、 支 確 保 の 荒 廃
 き 現 の 助 は 飼 き 件 を し 農 模 き 草 を 援 が す る 労 力 進
 る 場 補 助 料 に い 整 を シ 家 収 穫 必 要 力 や 反 面 、
 か の 助 事 き な い 理 タ や か 。 機 械 を 購 入 し て 貸 し 出 す
 調 声 業 は い ら 検 し て 、 新 規 参 入 者 か ら 、 農 機 具 購
 査 を 業 は い ら 検 し て 、 新 規 参 入 者 か ら 、 農 機 具 購
 ・ 聞 は い ら 検 し て 、 新 規 参 入 者 か ら 、 農 機 具 購
 研 い 採 。 い 雑 草 を 堆 肥 に す る よ
 究 て 択 要 件 が 難 し い 。 生 産
 し 市 と し て ど ん な 支
 た 市 と し て ど ん な 支
 い 。 し て ど ん な 支

一 般 質 問
 〔 氏 名 〕 小 川 安 士
 〔 会 派 名 〕 日 本 共 産 党 市 議 団

問 我々今回の錦川清流線再構築検討事業は、
 あり、新聞報道以降突降の大雨は、
 か、との声を多く頂いて、
 は、この前提の下、
 考え方を問う。この事業の
 問 近年、錦川鉄道の経営損失は、
 字 額は毎年、1億円を超え、
 填 して、おろし、今年も連続して、
 2 年間で、約100億円に達し、
 な 立場では、様々な方向性について、
 肢 をまとめたい。あわせて、
 促 進を図りたい。市の利用は、
 線 住民のみならず、観光客や、
 り 利用し、たい。

一般質問
 市市政改革クラブ
 氏名 廣中 信夫